

雫石商工会
 令和5年度経営発達支援事業評価

<評価基準>
 A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 E：未実施（0%）
 -：新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため実施を見送った事業

I. 経営発達支援事業の内容

（令和6年3月現在）

事業	項目	5年度 目標	令和5年度実績	4年度評価 (参考)	評価
1. 地域の経済動向調査 【指針③】	(1)雫石町経済動向調査	18社	四半期毎に景況調査を15件、物価高影響調査8件を実施しており、併せて補助金・給	23社	A
	上記情報提供	4回	付金等の情報提供を行っている。	4回	A
	(2)金融機関等へのヒアリング調査	3回	岩手銀行雫石支店、北日本銀行雫石支店、日本政策金融公庫との金融懇談会の際に情	3回	A
	上記情報提供	3回	報交換を行い、巡回等で情報提供を行った。	3回	A
	(3)刊行物、各種統計調査による調査	2回	職員間で刊行物等を回覧し、事業計画の策定等に必要な資料等の調査を行い、会報	2回	A
	上記情報提供	4回	や巡回等で情報提供を行った。	4回	A
2. 経営状況の分析 【指針①】	(1)小規模事業者経営実態調査	40件	経済動向調査と同様、四半期毎に23件の経営実態調査の他、各種事業計画作成支援	73件	A
	(2)経営分析件数	30件	時等において、実態調査を行った。	50件	A
3. 事業計画策定支援 【指針②】	(1)事業計画策定セミナーの開催	1回	個別相談会を3回開催している。主に経営革新計画策定、小規模事業者持続化補助金	3回	A
	(うち、参加事業者数)	30者	申請に向けた事業計画作成支援を行っている。	11社	A
	(2)事業計画策定件数	20件	経営革新計画4件、小規模事業者持続化補助金7件、事業承継計画20件、マル経等事	35件	A
	(うち、事業承継計画策定件数)	2件	業計画策定4件の支援を行った。	20件	A
	(3)創業計画策定件数	2件	飲食業、洋菓子製造業について、店舗候補地の紹介、創業計画策定支援を行ってい	2件	A
4. 事業計画策定後の実施支援 【指針②】	(1)事業計画策定事業者数	20者	経営革新計画策定4件（うち3件承認）、小規模事業者持続化補助金計画策定7件（う	35者	A
	(うち、事業承継計画策定事業者含む)		ち採択3件）、事業承継計画20件、マル経等事業計画策定4件。		
	(2)上記フォローアップ回数	80回	事業計画策定後の巡回・窓口相談において、82回のフォローアップ支援を行った。	82回	C
	(3)創業計画策定事業者数	2者	飲食業、洋菓子製造業について、店舗候補地の紹介、創業計画策定支援を行ってい	2者	A
	(4)上記フォローアップ回数	12回	る。		
5. 需要動向調査 【指針③】	地域内の消費者ニーズに関する調査				
	(1)特産品調査回数	1回	今年度は主にV-RESASを活用した消費動向調査を行っている。特産品に限らず、全	1回	A
	調査件数	250件	ての業種において消費者ニーズ調査に活用している。	5件	A
	調査対象事業者数	5件		5件	A
	(2)飲食店調査回数	1回	独自の調査は行わず、googleやぐるなびといった投稿サイトの口コミを分析し随時	1回	A
	調査件数	250件	情報提供を行っている。	5件	A
	調査対象事業者数	5件		5件	A
	地域外の需要動向調査				
	(3)バイヤー向け実施回数	1回	7月にいわて銀河プラザにおいてバイヤーからヒアリング調査を行った。	1回	A
	調査件数	9件		10件	C
	調査対象事業者数	3件		3件	C
	(4)都内レストランシェフ向け実施回数	1回	都内レストランのシェフに対して調査はできていない。	0回	-
	調査件数	9件		0件	-
	調査対象事業者数	3件		0件	-
	(5)専門家派遣の回数	4回	経営革新計画、その他事業計画策定に向けて専門家派遣を4回行った。	4回	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(6)外部データの活用による需要動向に関する提供回数	4回	「いわて銀河プラザ」の売れ筋商品情報や業界紙のトレンド情報の提供を行った。	4回	A
	(1)いわて食の商談会への出展支援件数	4件	周知するも実際に出展した事業所はない。	4件	-
	成約件数	2件		-	-
	(2)いわて銀河プラザへの出展支援件数	2件	7月にいわて銀河プラザにおいて雫石町の物産と観光展を開催している。	3件	A
	全体売上目標	15万円		46万円	-
	(3)ニッポン全国物産展への出展支援件数	2件	周知するも実際に出展した事業所はない。	4件	-
	全体売上目標	15万円		-	-
	(4)全国軽トラ市への出展支援件数	2件	全国軽トラ市（浜松市）が開催され、出店及び出店支援を行った。	2件	A
	全体売上目標	10万円		9万円	C
	(5)ニッポンネット.COM掲載事業所数	2件	周知するも掲載した事業所数は0件であるが、現在はふるさと納税の返礼品等を検討	0件	A
	全体売上目標	10万円	している事業所が多いため、事業所の要望に応じたの支援を行っている。	-	-
	(6)ホームページ開設(SHIFT)掲載事業所数	2件	ホームページ開設を検討している事業所もあるが、SNSによる情報発信が増えて	2件	A
	全体売上目標	10万円	おり、状況に応じた支援を行っている。	12万	-
	(7)SNS活用セミナー実施回数	1回	SNS活用セミナーを2回実施し、7事業所9名の参加があった。	2回	A
	参加事業者数	5者		7者	A
	(8)SNS活用による全体売上目標	10万円	(6)と同様	12万	-

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	5年度 目標	令和5年度実績	4年度評価 (参考)	評価
1. 地域経済活性化事業	(1)地域経済活性化のための検討委員会の開催	2回	軽トラ市実行委員会の開催を通じ、地域経済活性化のための検討を行っている。	6回	A
	(2)地域資源を活用した商品開発事業	随時	地域資源を活用した商品開発の検討を行った。	随時	A
	(3)特産品ブランド化事業	随時	豊富な森林資源を有する、雫石町産材の薪・チップを製造販売を目指している。	随時	A
	(4)観光資源の掘り起こしと観光ルートの設定	随時	昆虫園開園に向けての支援を継続している。	随時	A
	(5)テストマーケティング及びチャレンジショップの実施	随時	5～11月の軽トラ市において、「一押し店」として5件のテストマーケティングを行った。	5回	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	5年度 目標	令和5年度実績	4年度評価 (参考)	評価
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1)岩手県信用保証協会及び地元金融機関との連携	2回	岩手銀行雫石支店、北日本銀行雫石支店との間で金融懇談会を開催し、情報交換を行い支援ノウハウを共有した。	2回	A
	(2)日本政策金融公庫との連携	2回	一日公庫の開催やマル経、コロナ融資については緊密に連携を取って対応している。	2回	A
	(3)岩手県商工会連合会との連携	1回	イノベーションアワードに参加し、優れた経営支援事例や特徴的な販路開拓の方法等について情報交換を行った。	1回	A
	(4)マーケティング系のコンサルタント等との連携	2回	専門家派遣に同席し、ヒアリング能力の向上と情報分析手法の習得を図っている。	3回	A
2. 経営指導員等の資質の向上等	(1)独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修	随時	対象職員がいないため受講していない。	-	-
	(2)岩手県商工会連合会が主催する研修	随時	経営指導員や経営支援員を対象に、岩手県商工会連合会が主催する各種研修に参加し資質の向上に努めている。	済	A
	(3)勉強会及びOJTを通じたスキルアップ	随時	職員を対象としたOJTを通じ、経営革新、持続化補助金等の申請に係る資質向上に取り組んでいる。	済	A
	(4)支援情報、支援ノウハウの共有化	12回	毎月、職員間でミーティングを行い、職員相互の支援内容や情報を共有し、小規模事業者の支援に役立てている。	12回	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1)業務会議	12回	毎月業務会議を行い、業務進捗や課題の共有を図っている。	12回	A
	(2)理事会	4回	4月、7月、10月、3月にそれぞれ開催をしている。	4回	A
	(3)経営発達支援評価委員会	3回	7月、8月、3月にそれぞれ評価委員会を開催した。	3回	A

令和5年度総合評価
B